

## 今日のトピック 日銀短観と市場動向

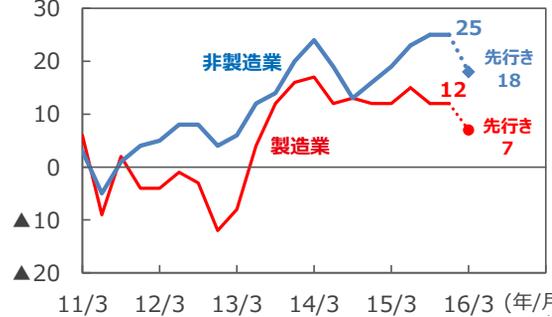
# 大企業の景況感は先行き慎重、市場は原油安を警戒

### ポイント1 景況感は先行きに慎重

#### 足元は製造業、非製造業とも堅調

- 14日発表の11月～12月調査の「日銀短観」によると、大企業・製造業の「業況判断DI」(最近)は+12、同じく非製造業は+25といずれも前期比横ばいでした。企業業績の底堅さを背景に、足元の景況感が堅調に推移しています。一方、大企業の「先行き」の景況感は、製造業、非製造業ともに悪化の方向です。新興国の景気減速に加え、米国の利上げや地政学リスクの高まりなど外部環境の不透明感が強まっていることが背景と見られます。

(ポイント) 【大企業の業況判断DI】



(注)データは2011年3月～2016年3月(四半期)。2015年12月までは業況判断DI(最近)、2016年3月は12月時点の先行きDI。  
(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 下期利益計画は下方修正

#### 通年の設備投資計画は維持

- 今年度下期の経常利益計画は下方修正されました。ただし、上期の上振れ分が支えとなり年度を通してみれば、前回調査から上方修正となっています。
- 堅調な企業業績を背景に、設備投資計画は前回調査からほぼ変わらずの、2ケタ増が維持されました。また、製造業が事業計画の前提とする下期の米ドル円レートは118.0円と、足元の実勢よりも円高のままであり、現状の実勢レートが続けば全体として利益の上振れ要因となる見込みです。

【大企業・全産業の売上高、経常利益、設備投資額】

(前年同期比、%)	2015年度		2015年度(下期)	
	計画	修正率	計画	修正率
売上高	▲ 1.1	▲ 1.5	▲ 0.9	▲ 1.9
経常利益	6.5	1.7	▲ 4.2	▲ 6.2
設備投資額	10.8	▲ 0.1	15.1	7.3

【大企業・製造業の想定為替レート】

(円/米ドル)	2015年度	2015年度(下期)
米ドル円レート	119.4	118.0

(注)修正率は前回調査との比較。  
(出所)「日銀短観」を基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開

## 米利上げ開始、原油価格の 落ち着きで不透明感軽減へ

- 14日の日経平均株価は、前週金曜日の欧米市場の地合いを引き継ぎ大幅に下落し、11月上旬以来の19,000円割れとなりました。終値は、前日比▲347円安の18,883円でした。原油安が止まらず、関連企業の破たんや関連ファンドの清算報道が意識され、リスク回避の動きが強まりました。
- 今週見込まれる米国の利上げ、原油安の影響、地政学リスクなどを巡る不透明感が軽減すれば、企業の景況感改善とともに市場の落ち着きも戻ると考えられます。

(円) 【日経平均株価と米ドル円レート】 (円/米ドル)



(注)データは2015年1月5日～2015年12月14日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ここも チェック!

2015年 12月11日 法人企業景気予測調査(10-12月期)  
2015年 12月 9日 日本の主要企業の業績見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。